

〈弊社製品の取扱い上のご注意〉

当社製品を安全にご使用いただくために、取り付け、施工やお手入れにあたっては、次のことにご注意いただきますようお願いいたします。

アルミ製品の取り付け・施工のご注意

- 銅・鉄等の異種金属（ステンレスは除く）とアルミ製品が、直接接触しないようにしてください。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの絶縁処理をしてください。
- 塩素イオン等の腐食成分を多く含む輸入木材の併用は避けてください。使用する場合には、アルミと接触する部分の木材に塗装をしてください。
- 塩分が多量に含まれている海砂を使用したモルタルは、腐食の原因となります。使用を避けるか、海砂を十分に水洗いしてから使用してください。
- 強アルカリ性のモルタルやコンクリートの抽出液は、シミ・ムラ・変色腐食の原因となります。アルミ製品の表面に流れないようにしてください。又、モルタルやコンクリートの急結剤も腐食の発生や促進作用があるので、使用を避けるか、塩化カルシウムや塩素系の化合物及び硅酸ナトリウム等の入っていないものをお使いください。
- モルタルやコンクリートが、施工時に、アルミ製品の表面に付着した場合は至急洗い流してください。
- 施工時に接着剤や化学製品を使う場合、アルミ製品に直接接触をしないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- アルミ製品の表面に傷がつくと、腐食の原因になりますので、十分注意してお取り扱いください。
- 製品の切り口に切断時のバリが残っていることがありますので、取り扱いには十分注意し、手や肌にケガをしないようにお気をつけください。
- アルミ製品は熱伝導率が高いため、温度差により伸縮します。
- 気温や環境の温度差により伸縮しますので、施工時にはその点を考慮してください。
- みだりに改造及び変更はしないでください。ビスなどは弊社のアイテムをお使いください。オプション品など他社の製品を使った場合、不具合が生じる場合があります。
- 組立の際、所定のボルト・ビス等を確実に締め付けてください。締め付け不良は事故の原因になる場合があります。設置後はビス・ボルト類がしっかり締めつけられているか確認してください。
- アルミ支柱等の設置は、支柱内部の異常腐食や凍結による破損を防ぐため、支柱内部にモルタルや水が入らないように行ってください。支柱用の穴に支柱を差し込んでからモルタルを入れてください。支柱に水抜き孔を開け水を抜くことも有効な方法です。
- 製品の施工は、危険が伴ったりする場合がありますので専門の工事業者による施工をお願いします。
- アルミ製品などエクステリアの商品は、夏季、長時間直射日光にさらすと、商品が高温になり、肌などに触れると外傷の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- 製品に給湯器や暖房機などの排気ガスが直接あたらないように施工してください。高湿、高熱や排気ガスによる変形・劣化のおそれがあります。
- 製品は避難通路の妨げになる所や、設置することで事故等が予想される場所には設置しないでください。
- アルミ製庭門や扉セットの扉は開閉時公道にはみ出さない位置に設置してください。施工完了後は必ず不具合がないか確認の上ご使用ください。

アルミ製品の使用上のご注意

- アルミ縦格子などアルミ製フェンス類は防護柵や手すりとしては使用しないでください。崖上や高台などでの転落防止柵や高所、非常に風当たりの強い場所には設置出来ません。
- 製品に局部的に荷重をかけないでください。破損する場合があります、ケガをする危険性もありますのでご注意ください。
- フェンスや藤棚など商品に上ったり、揺すったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。また、ボールなどを投げつけしないでください。ケガをする危険性があります。
- 遊具や踏み台、脚立など目的以外に使用をしないでください。
- フェンスの上に洗濯もの、布団、雨具などを乗せないでください。
- 安全保守のため定期的にボルト、ナット、ビス等のゆるみぐあいなど、また、基礎部の取付状況などに異常がないかご確認ください。
- 錆を防ぐには、年に1～2回の水洗いのお手入れが有効です。

アルミ製品のお手入れについて

アルミニウムはサビにくい性質を持った維持費の少ない素材です。しかし、腐食の大きな原因は大気中にあります。表面に付着し

た煤煙や砂、汚れなどを放置しておきますと、化学作用等で腐食やシミの原因となります。いつまでも美しくお使いいただくために定期的なお手入れをおすすめします。

〔通常のお手入れ〕

- 日常の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。
- 年に1～2回水洗いをしてください。
(海岸地帯や工業地帯等汚れがひどい場合は状況に応じて水洗いの回数を増やしてください)

〔軽い汚れの場合〕

- 水で濡らした布などで拭いたあと、乾拭きしてください。

〔ひどい汚れの場合〕

- 中性洗剤を水で薄めたものを布などに付けて表面の汚れを取り、洗剤が残らないように水洗いをしたあと、ていねいに乾拭きしてください。

〔著しい汚れの場合（サビが出ている場合）〕

- 中性洗剤を付けたナイロンたわし、または目の細かい紙ヤスリで汚れやサビを取り除きます。その後水洗いしてから、ていねいに乾拭きしてください。

※お手入れの注意事項

- お手入れや美装には、柔らかい布やスポンジをご使用ください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の粗い紙ヤスリなどは傷の原因になりますので、使用しないでください。
- 洗剤は中性洗剤を使用してください。ガラスクリーナー、アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤を含む洗剤や石油類は使用しないでください。
- 小石や砂利が付着したまま表面をこすると、傷がつきます。あらかじめ取り除いてください。

エイコー・プラ製品の取り付け・施工のご注意

- エイコープラ製品はAS系樹脂製品ですので、他の金属材料に比べて熱変形温度が低く、高温になる場所では変形するおそれがあります。
又、たき火など、製品の近くでの火の使用はお避けください。
- 製品に給湯器や暖房機などの排気ガスが直接あたらないように施工してください。熱や排気ガスによる変形・変色・劣化のおそれがあります。
- 積雪の多い地域や風圧の強い場所、また、地盤の弱い場所に施工する場合は、控柱などの補強システムが必要な場合があります。別途ご相談ください。
- エイコー竹垣・板垣などのフェンス類を強風地域や風が集中しやすい場所、風当たりの特に強い場所などに施工する場合は、強風による破損が起き飛散事故につながる恐れがありますので、柱の追加設計を行ったり、補強システム（多層構造の支柱）や控え柱などを使用して施工してください。
- 製品の切り口に切断時のバリが残っていることがありますので、取り扱いには十分注意し、手や肌にケガをしないようにお気をつけください。
- 施工後の残材は他の一般廃棄物とは一緒にせず、素材別に選別した上で業者に処理をお任せください。
- エイコープラ製品をハンマーで叩いたりハシゴをかけたりして、一点に衝撃を加えますと、破損事故の原因になりますので絶対にしないでください。
- エイコープラ製品は、温度差により伸縮しますので、ご注意ください。施工時にはその点を考慮してください。
- 製品は避難通路の妨げになる所や、設置することで事故等が予想される場所には設置しないでください。

エイコー・プラ製品の使用上のご注意

- 製品に局部的に荷重をかけないでください。破損する場合があります、ケガをする危険性もありますのでご注意ください。
- 製品に上ったり、揺すったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。また、ボールなどを投げつけないでください。ケガをする危険性があります。
- 遊具や踏み台、脚立など目的以外に使用をしないでください。
- エイコー竹垣・板垣などのフェンス類の上に洗濯もの、布団、雨具などを乗せないでください。
- 安全保守のため定期的にボルト、ナット、ビス等のゆるみぐあいなど、また、基礎部の取付状況などに異常がないかご確認ください。
- 製品の近くで火気を使わないでください。
- エイコープラ製品は、AS系樹脂を素材にした製品です。製品の汚れは水で洗い落としてください。汚れがひどい場合には中性洗剤を使用し、その後は水で十分に洗い落としてください。また、消毒液がかかった時には速やかに水洗いしてください。そのまま放置すると製品が変色、変形するおそれがあります。ガソリン、シンナー等、石油系溶剤や薬品等のご使用は避けてください。
- 製品の近くで農薬等薬品を散布する場合は製品にかからないようにしてください。かかった時は速やかに表面を洗浄してください。放置すれば変色等の恐れがあります。

- 経年劣化を防ぐには、年に1～2回の水洗いのお手入れが有効です。

※エイコー竹垣・板垣などのフェンス類にはアルミ製の形材が含まれます。アルミ支柱等アルミ製品の注意事項等については左のページをご覧ください。

エイコー・プラ製品のお手入れについて

樹脂製品の腐食を防止するには、定期的な水洗いが有効です。樹脂の表面に付着した汚れを長期間そのままにしておくと変色などの腐食の原因になります。いつまでも美しくお使いいただくために定期的なお手入れが大切です。

- 日常の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。
- 年に1～2回水洗いをしてください。
(海岸地帯や工業地帯等汚れがひどい場合は状況に応じて回数を増やしてください)

〔軽い汚れの場合〕

- 水で濡らした布などで拭いたあと、乾拭きしてください。

〔ひどい汚れの場合〕

- 中性洗剤を水で薄めたものを布などに付けて表面の汚れを取ります。洗剤が残らないように水洗いをしたあと、乾拭きしてください。

※お手入れのご注意

- お手入れには、布やスポンジなど柔らかいものをご使用ください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の粗い紙ヤスリなどは傷の原因になりますので、使用しないでください。
- 洗剤は中性洗剤を使用してください。ガラスクリーナー、アルコール、ペンジン、アセトンなどの有機溶剤を含む洗剤や石油類は使用しないでください。腐食、変形や割れの原因となります。
- 殺虫剤などのスプレーは吹き付けしないでください。
- 小石や砂利が付着したままこすると、傷がつきます。取り除いてください。

エイコー・プラ杉板よしの製品のお手入れについて

長期間洗浄をしないで放置すると、表面の凸凹に汚れ（シミやカビ）が入り込み、斑点の原因となります。このような場合、中性洗剤では汚れが落ちにくくなります。このような場合は、台所用漂白剤（次亜塩素系漂白剤）をご使用ください。

●洗浄の方法

- ①製品を水洗いする
- ②表面に水分が残った状態で漂白剤を噴霧する
- ③数分間放置後（漂白剤噴霧後は長時間放置しないでください。変色する恐れがあります）、漂白剤を完全に洗い流す。（アルミ支柱にかかった漂白剤なども完全に洗い流す）

※お手入れのご注意

- 漂白剤の使用は、漂白剤に記載されている注意事項を必ず守ってください。
- 漂白剤や洗浄した水が植栽にかからないようにご注意ください。

エイコー竹垣・エイコー板垣・アルミフェンス等の設置上のご注意

海辺・屋上、高台、その他特に風の強い場所、または垣根高さが1800mm以上で設置する際は、控え柱及び多層構造の支柱を使用するようおすすめいたします。詳しくは当社までご相談ください。

天然竹と天然木で製造した製品の 施工上と使用上のご注意

- 素材は天然竹や天然木です。製品の切り口に切断時のささくれ素材やバリが残っている場合があります。取り扱う時には軍手や安全靴を着用し、けがのないようご注意ください。
- エイコーユニット式竹垣などの製品には付属のビス類が付いている場合があります。組立にはそのビス類で組立を行ってください。また、ビス類の締めつけは充分行ってください。不完全な場合事故の原因になることがあります。組立完了後は、一度、ゆるみがないか確認してください。
- 製品の設置場所について
設置場所の条件で、特に風あたりの強い場所や積雪の多いところでは、基礎の強化や控え柱などを使って垣根等全体の強度を補強してください。また、近くに暖房器や給湯器など排気熱がでて直接製品に影響する設備があったり、極度に湿気が多いところでは製品の経年劣化が早くなります。製品の設置場所の条件を十分ご検討ください。
- 製品は防災用の避難通路の妨げになる所や、設置することで事故等が予想される場所には設置しないでください。
- 柱を固定する場合は転倒などの事故がおきないように確実に行ってください。
- 商品の組立や施工には必ず取扱説明書に従って行ってください。
- 天然素材（主に竹製品）を使った製品を夏期（5～9月頃）に施工した場合、カビ等の発生の可能性が高くなります。
- 表示されている製品の性能を超えて使用しないでください。
- 製品または素材の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）等でサビやカビ、またはその他の不具合が生じる場合があります。
- 本来の使用目的以外の用途に使用しないでください。
- ケガをする危険がありますので、商品にぶら下がったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。また、ボールなどを投げつけたりしないでください。
- 商品の近くで火気を使用しないでください。
- 商品を改造したり、または当社のオプション品や付属品以外を取付けるのは避けてください。商品の性能が低下する恐れがあります。
- 竹垣は、隣地との境界を目的に設置するものですので、防護柵や手すりとして使用しないでください。
- 目的以外のご使用はおやめください。
- 商品が破損した場合は、すぐに施工店にご連絡ください。そのまま使用されますと事故の原因になります。
- 局部的に重い物を乗せたり、掛けたりしないでください。
- 割れや腐食など年数の経過により傷みがひどくなった場合には安全を考えて使用を中止し、解体処分してください。
- 竹垣等の付近で農薬や殺虫剤を使用する場合は、表面に付着しないよう気をつけてください。表面が変色する恐れがあります。
- 商品の破損の原因になりますので、竹垣等に布団や洗濯物を干さないでください。
- 安全のため、定期的にボルトやナット、ビスにゆるみがないか確認するようにしてください。
- 天然素材の製品ですので、カビや虫食いが発生することがあります。また、年数の経過とともに朽ちてきます。
- 天然素材製品は、色や寸法に多少の誤差があります。
- 天然素材製品は、節による入荷困難な時期があります。その都度、納期確認をお願いします。

石材製品の施工上と使用上のご注意

掲載商品はいずれも天然素材の為、色合いや石の模様などは微妙に異なります。またカタログでの色調は印刷上実物とは異なる場合もございますのでご注意ください。上記の色調や石目違いの為の返品や交換は恐れ入りますがご遠慮下さい。

大理石のように脈があるものや石目や板目のあるものは天然の亀裂が存在する場合がございますので施工の際の強い衝撃は避け下さい。

酸やアルカリ、油性の物質や薬品等が付着した場合はシミ・汚れ、また色あせ等の原因となります。ご注意ください。

天然の素材の為、年月により変色や浸蝕がおこる場合もございます。

輸入商品は輸入先の諸事情により納期の遅れ欠品を生じる場合がございます。ご注文の際にはなるべく前もって在庫数と納期確認をお願い致します。また追加注文をいただいた場合などは上記記載のとおり、色調が揃いづらい点をご了承下さい。

●御影石

特に、バーナー仕上げにおいては透水性が高い為、シミや汚れの発生しやすい場所への使用は避け下さい。

御影石のなかでも種類により酸性に侵されやすいものや吸水性が比較的高いものもございます。

●砂岩

外部使用は環境により風化が著しい場合があります。

また湿気の多い場所ではカビ発生の恐れがあります。

●大理石

耐水性、対薬品性が低く風化や色あせがしやすい為、水周りや雨水のかかる場所はお避け下さい。

●国産石

産地、石種により性質が異なります。商品により風化やシミが発生しやすい商品もございます。

●乱形石

割肌タイプについては寸法に多少の幅がありますので目地幅にて調整して下さい。また石の形状を削り整えて目地をつめて施工する場合は使用量が増えますのでご注意ください。凹凸面のバラつきから、板厚差を考慮して施工して下さい。

●割肌石

割肌タイプについては寸法に多少の幅があります。

凹凸面のバラつきから、板厚差を考慮して施工して下さい。

極端に薄い寸法等には加工が難しい旨をご了承下さい。

▶石種選択時にはそれぞれの石の性質をご確認の上、使用場所に適正かどうかご検討下さい。

信楽焼製品の使用上のご注意

ひと口に信楽焼と言っても、さまざまな商品があります。そのどれもが伝統の技に支えられ、焼物の可能性を追求した逸品です。陶土と呼ばれる粘土を主原料とし、その持ち味を最大限に活かした風合いは、陶土と炎が織りなす絶妙なバランスによって生まれます。信楽焼ならではの、深い味わいをお楽しみください。

商品によっては、表面及び内面のザラつき等にご注意ください。

信楽焼の土は荒土が特徴で吸水性があるため、長時間水分を入れたまま放置されますと、底部から水分がにじみ出る場合がありますのでご注意ください。ご使用の場合は受け皿等をご使用ください。また、洗剤や薬品（界面活性剤等）を混入されますと水漏れの原因となります。

重量のある商品は設置場所及び取り扱いに充分ご注意ください。また底面処理をしておりますが置場所によっては万一に備え、敷物、保護材等をお使いください。

陶照明

屋内用、屋外用の区別にしながらご使用ください。電源は AC100V コンセントを使用してください。コードは必ず差込みプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると事故のもとになります。窓際等に置く場合は、風、カーテン等にご注意ください。転倒、過熱事故のもとになります。

水鉢／つくばい

水漏れ処理をしておりますが、室内でご使用の場合は万一に備え、敷物等をお使いください。厳冬期に屋外に設置しますと氷結し、氷が膨張することにより、破損する場合があります。